



高木瀬小学校 学校だより

第4号
R7.7.1発行
文責:橋口

交通安全教室を開きました(6月4日)



1年生は学校周りで歩道の歩き方と横断歩道の渡り方を実際に体験し、2年生以上は体育館で映像を観たのち、指導員さんの話を聞きました。

1年生は「左右の確認をして横断歩道を渡ること」「歩道ではなるべく道路から遠いところを歩くこと」などを交通指導員さんや警察の方に教えてもらいながら体験しました。緊張しながらも「自分の命を守る」学習ができました。

2年生以上に特に力を入れてお話をされたのは自転車の乗り方についてです。「自転車は車両であり、原則、左側通行である」「ながら運転の罰則が強化された」「ヘルメットの有無で致死率が約2倍となる」「歩行者との事故の場合、自転車側が小学生でも加害者となり多額の賠償金を負うことがある」など具体的な例を挙げて説明していただきました。

朝、正門に立っていると、右側通行の自転車を数多く見かけます。それは中高生に限りません。大人の方もです。また、歩行者がいるにも関わらず歩道内を自転車に乗ったまますり抜けるように通行されている方も多く見かけます。いずれも法律違反です。

佐賀県警はじめ警視庁など公的機関のHPに、自転車に乗る上でのルールが分かりやすく説明されています。加害者にも被害者にもならないように、ぜひ、親子で確認をされてはどうでしょうか？

佐賀市役所生活安全課、佐賀北警察署、高木瀬地区交通指導員の皆様、ありがとうございました。

感動!!「高小ミュージックステーション」



6月25日(水)と26日(木)の昼休みに、高小ミュージックステーションが開催されました。これは、希望者が歌唱やダンス・楽器演奏など音楽系の出し物を披露する催しです。当日の体育館は、大勢の観客で熱気に包まれました。仲よしグループで元気よくダンスをするグループもあれば、ピアノ演奏を披露する児童もいて、盛り上げ上手の観客と一体化したとても楽しい会となりました。お世話は、全て集会委員会の子どもたちです。

高木瀬小ならではの素晴らしい自治的活動です。

★今年度は「祖父母学級」の皆さんをお招きして、参観をしていただきました。皆さんからは「子ども達の生き生きとした表現の様子を見て感動しました」「集会委員会の子どもたちが『パイプ椅子を用意しましょうか』と声をかけてくれました。素晴らしいですね」「子ども達の元気な様子を見て、私たちもとても元気が出ました」と感想をいただきました。

記念に運動会のDVD/Blu-rayはいかがでしょう？

本校は保護者 TENT を用意するスペースがないため、運動会の応援に来られた学校サポーターの休憩所として体育館を開放しています。その際、お子さんの出場に合わせて運動場に出てきていただけるよう体育館でライブ配信を行っています。そのライブ配信はこの DVD/Blu-ray 制作業者の好意によって無料で提供しているものです。良かったら購入にご協力をいただけないでしょうか？どのお子さんも徒競走の場面で必ず映っています。

一旦、申込を締め切りしましたが、購入を希望される方がいらっしゃったら、追加で注文をしますので、申込袋を担任までご提出ください(期限:7月4日(金))

※DVD/Blu-ray とともに1枚 2,000 円です。代金は業者への直接振り込みですからお子さんに持たせないようご注意ください。

※案内プリントを紛失された方は担任までお申し出ください。再度お渡します。

学校目標「全児童に未来社会をしなやかに生き抜く力を育む」

がんばった図書委員会「あじさい祭り」



たから探し前の説明をしている様子

23日(月)～27日(金)は図書委員会のお世話で「あじさい祭り」が開催されました。図書委員会のアイデアで「しおりづくり」「低・中・高別クイズ」や「キーワードクイズ」などが行われ、とても賑わいました。

「たからさがしゲーム」の際は興奮する低学年の子ども達を相手に、図書委員の6年生はとても苦勞していましたが、それでも先生たちの力を借りることなく、自分たちで催しをやり遂げました。

後日、図書委員の子どもが「先生、来てくれてありがとうございました」とわざわざ声をかけてくれました。一つの経験から大きく成長した様子がうかがえました。

「7才の交通安全プロジェクト」交通安全の小学校向けオンライン授業



6月25日(水)に、こくみん共済、朝日学生新聞社主催のオンライン授業を2年生～5年生で受講しました。

これは、本校宛にきた案内を見た先生方が安全教育のために、「ぜひ、本校の子ども達に受講させたい」と申込をして実現したものです。

通学や外出の際の「歩行」に関するルールと安全な行動について、子ども達が自ら考えて、安全な行動がとれるように知識を身につける授業です。

クイズとその解説で構成をされた授業で、子ども達は集中して学ぶことができました。

未来社会をしなやかに生き抜く力を育むために

6月18日(水)に佐賀市教育アドバイザー神野元基(じんのげんき)先生を本校にお迎えして研修会を開催しました。

今年度、本校は佐賀市53校を代表して「佐賀市教育ビジョンのモデル校指定」を受けました。お受けする際、佐賀市教育委員会からは、「モデル校指定において、教育委員会から研究内容を指示したり、何かのノルマや制限を課したりすることは一切しない。高木瀬小の研究を伴走支援したい」と言っていただきました。高木瀬小の「主体性」を大事にしていただけるとのことです。これほどありがたいことはありません。

まずは、「神野先生のお話を全職員でお聞きしたい」と希望をしました。神野先生はこれから日本が目指すべき教育について(特に、教育のデジタル化や生成AIの活用、個別最適化学習など)深い知見をお持ちの方です。中央教育審議会(文部科学省に設置されている教育政策に関する審議会)初等中等教育分科会の臨時委員であり、2030年実施予定の学習指導要領改訂に関する教育課程企画特別部会の委員でもあります。いわば、日本の教育政策に関わる中心人物の一人です。

当日は、本校の状況を知っていただくために、5時間目に授業の様子を参観していただきました。その後、「本の森(図書室)」で神野さんの講話をお聞きしました。先生方は、当事者意識をしっかりと持って、真剣に話を聞かれています。

次回は7月23日(水)に来校いただく予定です。

本年度の教育目標「全児童に未来社会をしなやかに生き抜く力を育む」の達成に向けて、本校は動いています。

神野先生から・・・

- もう高木瀬小の授業改革は進んでいる。これから日本中の学校が目指したい、こんな良い授業をする先生がいる学校なら、学校内で学び合うことで授業改革は進むはず。
- 研修中の先生方の表情が良い。それぞれの先生方が自分事として話を聞いていることが、途中のグループワークや最後の感想発表で分かった。
- 今後は、それぞれの先生が感じている疑問や不安などを全て出し合って、全員が納得感をもって、改革を進めていこう。

